

県土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標（案） 算定資料

資料2
(単位：ha)

区 分	平成16年	平成27年	平成37年				増減量		
			推計値	推計方法	目標値	設定方法	実績	推計	目標
							(H16~H27)	(H27~H37)	(H27~H37)
農 用 地	135,100	126,900	119,400		121,500		△ 8,200	△ 7,500	△ 5,400
農 地	134,500	126,800	119,300	H16年からH27年の面積の推移から推計した	121,400	耕作放棄地の発生抑制や活用、農地転用を伴う住宅地開発や太陽光発電施設設置減少により、目標年次には現状の趨勢の5割の減少量と見込み、目標値とした。	△ 7,700	△ 7,500	△ 5,400
採草放牧地	600	100	100	直近の現況面積を維持することとした	100	酪農及び肉用牛生産のため飼料作物は、原則農地から供給することから増加要因がないため、現状のまま推移するものとした。	△ 500	0	0
森 林	162,500	157,700	153,300	H16年からH27年の面積の推移から推計した	153,800	近年急激に増加した太陽光発電施設の設置は、今後減少するものと考えられることから、目標年次には現状の趨勢の8割の減少量と見込み、目標値とした。	△ 4,800	△ 4,400	△ 3,900
原 野	1,400	2,200	2,200	直近の現況面積を維持することとした	2,200	貴重な自然環境を形成しているものは保全するとともに、耕作放棄地の原野化を防ぐ施策により、現状のまま推移するものとした。	800	0	0
水面・河川・水路	17,800	17,900	17,800		17,900		100	△ 100	0
水 面	3,000	3,200	3,200	直近の現況面積を維持することとした	3,200	天然湖沼、ダムは保全維持することから増減要因がないため、現状のまま推移するものとした。	200	0	0
河 川	12,400	12,500	12,600	H16年からH27年の面積の推移から推計した	12,600	頻発するゲリラ豪雨等による水害対策のため、今後も河川整備は適切に進める必要があることから、推計の面積と同じとした。	100	100	100
水 路	2,400	2,200	2,000	H16年からH27年の面積の推移から推計した	2,100	目標年次における農用地面積のと整合を図った。	△ 200	△ 200	△ 100
道 路	33,800	35,400	36,900		37,100		1,600	1,500	1,700
一 般 道 路	25,900	28,100	30,100	H16年からH27年の面積の推移から推計した	30,100	財政状況は引き続き厳しい状況が見込まれるものの、全国や県内各地との交流・連携を強化するためにも、高規格幹線道路等や国道・県道の整備を進める必要があることから、推計の面積と同じとした。	2,200	2,000	2,000
農 道	7,400	6,800	6,300	H16年からH27年の面積の推移から推計した	6,500	目標年次における農用地面積のと整合を図った。	△ 600	△ 500	△ 300
林 道	500	500	500	H16年からH27年の面積の推移から推計した	500	目標年次における森林面積のと整合を図った。	0	0	0
宅 地	78,500	83,000	87,000		85,400		4,500	4,000	2,400
住 宅 地	49,100	52,700	56,000	H16年からH27年の面積の推移から推計した	55,100	既存の宅地や空き家等の活用等を見込み、目標年次には現状の趨勢の5割の増加量と見込み、目標値とした。	3,600	3,300	2,400
工 業 用 地	7,200	7,000	6,800	H16年からH27年の面積の推移から推計した	7,000	近年、工業用地面積の減少は逡減傾向にあり、新たに整備された工業団地や圏央道、成田空港周辺への企業立地等を見込み、基準年と同程度とした。	△ 200	△ 200	0
その他の宅地	22,200	23,300	24,200	H16年からH27年の面積の推移から推計した	23,300	近年、その他の宅地面積は横ばいにあるが、今後、都市機能の集約や、空き店舗等の活用を行うことにより、大幅な増加はないものとして、基準年と同程度とした。	1,100	900	0
そ の 他	86,600	92,700	99,200	県土面積から、農用地、森林、原野、水面・河川・水路、道路、宅地を差し引いた面積とした。	97,900	県土面積から、農用地、森林、原野、水面・河川・水路、道路、宅地を差し引いた面積とした。	6,100	6,500	5,200
合 計	515,700	515,800	515,800		515,800				
市街地面積 (人口集中地区)	62,200	64,400	66,400	H16年からH27年の面積の推移から推計した	65,400	既存の宅地や空き家等の活用等を見込み、目標年次には現況の5割の増加量となるよう年増加面積を段階的に減少させ、目標値とした。	2,200	2,000	1,000